

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	現代社会
教科書	高等学校世界史A(第一学習社)
補助教材等	プロムナード世界史(浜島書店)
学習上の留意点	
<p>①評価の6割は講義の学習内容を定期試験で確認する。授業では教科書・副読本を使った説明をよく聞き、講義をしっかり理解し自分の言葉で内容を説明できるようになって下さい。②残りの評価のうち、2割はレポートや課題などの提出を求め評価する。必ず期限までに提出して下さい。③後の2割は授業中、教員が口頭でいろいろ関連項目を質問して口頭で回答してもらい評価する。たとえば評価を付して返却物がもどってきた後、授業で同じ内容を質問した場合に自分の言葉でどの程度回答できるかが評価の基準になる。④なお、欠席状況は各自で担当教員に尋ね確認して下さい。また、再試はしませんので注意して下さい。⑤教材は必ず持参のこと(忘れてたり借りたりは減点の対象)。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>過去はいわば「外国」である。過去は現在と違うから。だから、過去と向き合うことで異文化を学ぶことになる。異文化を学ぶことで、私がどのような文化に属するのかを理解し説明できるようになって下さい。</p>	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	導入	①授業の進め方と評価方法を説明できる。②過去を振り返る前提となる現代の国家・経済・自然環境の問題を説明できる。	予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
2	東アジア世界(1)	現代の在り方と比較しながら、中国文明の特質を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
3	東アジア世界(2)	現代の在り方と比較しながら、中国中心の東アジア世界の成立と特質を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
4	南アジア世界(1)	現代の在り方と比較しながら、南アジア世界の成立と特質を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
5	南アジア世界(2)	現代の在り方と比較しながら、南アジア及び東南アジア世界の成立と特質を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
6	ユーラシアの交流	モンゴル帝国の成立と展開について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
7	14～16世紀の内陸アジア・南アジア・東アジア世界(1)	明・清の成立と東アジアの関係について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
8	中間試験		
9	・答案返却 ・14～16世紀の内陸アジア・南アジア・東アジア世界(2)	・解答 ・ティムール帝国とモスクワ大公国の成立と展開について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
10	14～16世紀の内陸アジア・南アジア・東アジア世界(3)	ムガル帝国とオスマン帝国の成立と展開について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
11	15～17世紀の欧州(1)	スペイン・ポルトガルの海外進出について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
12	15～17世紀の欧州(2)	欧州の進出によるアメリカ大陸の変容について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
13	16世紀の欧州(1)	ルター・カルヴァンの宗教改革とカトリックの対抗宗教改革について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
14	16世紀の欧州(2)	イギリスの宗教改革について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
前期末試験			
15	・答案返却 ・レポートの説明	試験問題の解説を通して試験で間違った箇所について従来の理解を修正できる。夏季課題について説明できる。	予習のため次回の授業の範囲を伝達する。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	16・17世紀の欧米	スペイン・オランダの覇権争いと国の仕組みについて説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
17	17・18世紀の欧米	イギリスとフランスの覇権争いと国の仕組みについて説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
18	産業革命(1)	イギリスの産業革命の背景と展開について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
19	産業革命(2)	産業革命による社会の変容と対応について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
20	19世紀の欧米(1)	フランスの革命とナポレオン、ラテンアメリカの独立について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
21	19世紀の欧米(2)	アメリカ合衆国の展開と南北戦争について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
22	19世紀の欧米(3)	帝国主義について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
23	中間試験		
24	・答案返却 ・インドとイギリス	・試験問題の解説を通して従来の誤った理解があれば修正できる。 ・ムガル帝国の展開について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
25	19世紀のインド	イギリスによるインドの植民地化と独立の動きについて説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
26	19世紀の中国	清朝の改革と挫折について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
27	19世紀のオスマン帝国	オスマン帝国の改革とバルカン半島の情勢について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
28	第一次世界大戦	戦争の背景と経過、結果を説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
29	戦間期の世界と第二次世界大戦	2回目の大戦の背景について説明できる。	前回の内容の復習を授業で実施。予習のため次回の授業の範囲を伝達する。
学年末得試験			
30	・答案返却 ・アンケート実施	試験問題の解説を通して試験で間違った箇所について従来の理解を修正できる。夏季課題について説明できる。	
総 授 業 時 間 数			60 時間